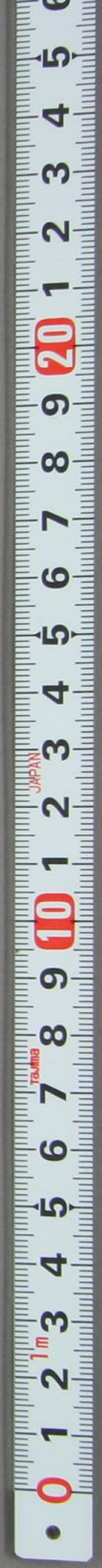


YAMATO HOTEL.

恭賀
 貴下等々、以壯健々、安華堂の博覧會
 生るる去るる中なる大御出帆 海路意のな
 る作の着進仕の事付 乍他多以安の下
 事を、出展の際志は、貴下のため好く、以
 紹々下を、山のみならす 満鐵会社に對志
 する貴下の祝意、以便宜を、予一とせ、以下命
 下を、以、貴下、の以、懇情、年、貴下、の時、貴下、精
 力、の、許、す、限、り、祝、意、に、努、め、以、て、以、貴下、名、に、背



かきとるを 致志在中
大塚に於て 押川方義先生に面會致し 大隈内務
の宗社党に對する計畫一通り 能く任んが 南方革
命党に對すると等志あり 孰れも目的を貫徹するに思
ひ切つたる態度を有するに至らざりしを遺憾と存し 孰
ては南方革命党と云ふ 宗社党と云ふ 今迄之始末は實
に困難なるあり 殊に宗社党之川崎浪起に屬する團體
は 大隈内務少志と 宗社党の再興に際し 必ず折衝すべ
し 約束を與へざるに於ては 死を以て其志を徹せんとする者多

2



YAMATO HOTEL

在り同するか如き 既に過般福田中將之満海
 通過に際しては 之を宗社党の活動に對する妨
 害者として途中に安轉子せとする計畫者あり
 有之り也 若し従前に於ける大隈内閣と宗社党
 との關係が 世に別ある人の一時の怒はゆり 世上
 曝露せざるが如き事あらば 反對党は大隈内閣を
 執りて好材料を與ふ事は中上なる事なるに
 日本に對する猜疑心は甚極に達せしむるに
 此の半世紀に一方なるを以て 憂慮甚し 知れざる

に押川先生は最も純真 其下を解し 又川崎浪本等
との親交有之 其下の経緯の雄大なるを川崎氏に親
くは教る可なり 川崎氏も心事の至潔なるを其下
に傳ふるに最も好適之人物有之 今更に大隈内閣と
其社党との間に立て 甚く懐疑致す所 好に其日押川先
生より其社党後始末に就き 其下の中身の抄件は頗
る重大なる性質を有するものと志す 十分考慮致す可
也 陸軍及外務省局者に此下命下されば 事終る
事あらすと存す 特に一紙宛て 其考慮を煩はし奉り

4



YAMATO HOTEL

大連に到着して 満鐵と鮮鐵の運賃問題
 の容易さうさるを 痛切に感ぜしめ 小生は満鐵
 に偏せず 鮮鐵に偏せず 日本資本の問題と志す
 公平に観望仕り 今俄かに人為的の運賃改定を
 以て大連の貨物を 釜山に存せんとするの望みにあり
 さるを認めし 大連は五性貨 香港のみならず 新嘉
 坡の如く 貨物の集散地と志す 頗る有利なる地位
 を占め居中の 満鐵の貨物は自ら此地點に集ま
 り、やがてそれより 市場の多量に流し 或は日本に或

は支那に 或は其他の 諸外子に輸出せらるゝ次第にて 満
蒙産物の 貯蔵地及び 集積地と名ての 設備は 頗る
完備 貯蔵力のみならず 釜山の如く 日本にのみ 特に 密接
すれども 其他の 各子には 頗る 遠隔せる 地點と 異なり
何れの方角にも 遠隔の 距離を 有しゆが故 所謂 デストリ
ビユーテング センターと名ては 大切ならずやと 存せられし 就
ては 此 運賃問題 は 今 俄かに 之を 解決せず 姑らく 鉄
道院にて 決定したる 新 運賃の 実施を 延期し 次の如き
6 政策を 採り 遂は 是れは 如何と 存し

7



YAMATO HOTEL.

一 朝鮮総督寺内伯をして 関東都督を兼ねしめ 寺内伯をして 朝鮮のみならず 満洲³も又 自己の親愛すべき 管轄区域なりと感ぜしむる事

二 朝鮮総督にして 関東都督を兼ねる以上 満鉄会社に 朝鮮鉄道の 経営権を委任し、次いで 満鉄と 鮮鉄との 利害関係を 調和せしむるに努むる事

三 右の如き 改革を行ひ 新関東都督が十分に 満洲の 事情を 把握する迄 姑らく 満鉄及 鮮鉄の 運賃は 現状維持とする事

惟ふに大連人は追々上系陳情仕る又々
其れに對志右
其れを方法に出るるが最に因滞なる又自然^の解
決に到着するに安らすやと存する 台潜越 敢て貴
意を得る如新^{所以}に以産の

最後以内各更迭の殆ど類とあるは遺憾と承
以上は陛下の信任を以て 下は國民の輿望を荷する
る所ある内各に對志 更迭を勧誘する者は非立
憲の罪人なりと存し 立憲の所以家は議會に於て
起つ能はざる 打撃を受くる迄断して辭職すと若に安



YAMATO HOTEL.

らず 軍人を見よ 刀折れ矢盡きずして 敵に降
 服する者は情者なり 軍法會議は死刑を
 以て待つにあらずや 政治家豈に獨り刀折れ
 矢盡きざるに先ち 隈りに一身上の理由を以
 て退却すけんやいとこの言葉葉を^(漢字に)承り居る小
 生は断じて新多紙の好意の虚体あるを信
 じぬ一也 海下の以門に出のせらるる方々の中
 には 梶原の逆櫓を説く人此有之ぬる也 時
 には新多紙の好意の虚を 遙かに以て健在を奉
 新るる此有之ぬる 何事對支外交及び世界戦

後の諸和會議が一敗を告ぐる時、
以て繼續下を承る。西民の多数は之を
吾下に歸納し、吾らも疑ひなしと奉る。

乍ら候者夫人等、初めは家務に一回採一
歩、以て鬱鬱下を承る。遂かに右位に
以て健康を奉新告、好具。

七月二十日 出連 中於て

柳本郎

10

大隈侯爵殿下



東京
郵便局
十月十日



書留

大隈侯爵閣下
心親展

神奈川県名府津





大連 ヤマトホテル
永井柳太郎

